

高屋遺跡の発掘調査が始まりました

長野県埋蔵文化財センターは、国道153号の道路改築事業に先立ち、令和4年度から飯田市高屋遺跡（上郷別府）の記録保存を目的とする発掘調査を実施しています。今年度も4月から作業を開始し。調査は11月末まで実施する予定です。

高屋遺跡は天竜川右岸の低位段丘上（下段）に立地しています。

高屋遺跡の周囲には菰越遺跡や溝口の塚古墳、宮垣外遺跡、国指定史跡の飯沼天神塚（雲彩寺）古墳があります。また、『高屋』の交差点付近には番神塚古墳があったとされています。

高屋遺跡はこれまで平成8（1996）年から平成11（1999）年にかけて飯田市教育委員会が「高屋」の交差点付近を、令和4（2022）年と令和5（2023）年に当センターが国道153号沿いの調査を行いました。

令和4・5年の調査では、古墳時代～奈良・平安時代の竪穴建物跡7軒、土坑186基、奈良・平安時代の掘立柱建物跡3棟、弥生時代～奈良・平安時代の溝跡・流路跡が10条みつかりました。また、弥生時代の方形周溝墓とみられる溝跡もみつかっています。

今年の調査は令和5年度に調査した地区のさらに南側、「高屋」の交差点の北側を調査します。



遺跡の位置（地理院地図に加筆）



今年の調査地区の位置

流路跡（SD06）の調査



今年度調査区の様子

令和5年の調査でみつかった流路跡（SD06）では、多くの土器が出土しました。その中には墨書のある灰釉陶器や、刻書のある須恵器も出土しました。

このSD06は南北方向に流れており、今年度の調査区にも続いていました。そして、「高屋」の交差点に向かって続いていくと考えられます。平成8～11年の飯田市教育委員会の調査でも、流路跡がみつかっており、SD06とつながる可能性があります。

今年度の調査では、流路跡から弥生土器の壺や、土師器の甕、土製の勾玉が出土しています。



弥生土器の出土状況



土製勾玉の出土状況



期間中、大型重機等の車両が入りますので十分ご注意ください。また、調査区域内には危険な場所もありますので、許可なく立ち入らないようにお願いします。

発掘の見学をご希望される場合は、事前に調査の担当者までご連絡ください。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方297-5

電話：0265-49-0736

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp/>

担当：関/島田